

第 1 章 業務概要

第1章. 業務概要

1-1. 業務概要

1-1-1. 業務名

令和4年度 藺牟田池生態系調査業務委託

1-1-2. 業務の目的

本業務は、藺牟田池内及びその周辺の生態系調査を実施し、過去の調査結果と比較分析することによりこれまでの環境変化を考察し、これからの藺牟田池の環境保全計画及び利活用計画に反映することを目的とする。

1-1-3. 業務場所

薩摩川内市祁答院町藺牟田地内（図 1-1-1 参照）

1-1-4. 履行期間

自 令和4年7月25日

至 令和5年3月15日（234日間）

1-1-5. 業務内容

本業務の業務内容を表 1-1-1 に示す。

表 1-1-1 業務内容

調査項目	調査範囲	調査時期
鳥類	藺牟田池内（流域区内）	夏季・冬季（2回）
魚介類	藺牟田池内	秋季（1回） ※外来魚の胃内容物調査

1-1-6. 発注者

薩摩川内市 市民安全部 環境課

1-1-7. 受注者

新和技術コンサルタント株式会社 [事業本部]

TEL (0996) 25-3155

FAX (0996) 23-9082 [技術部専用]

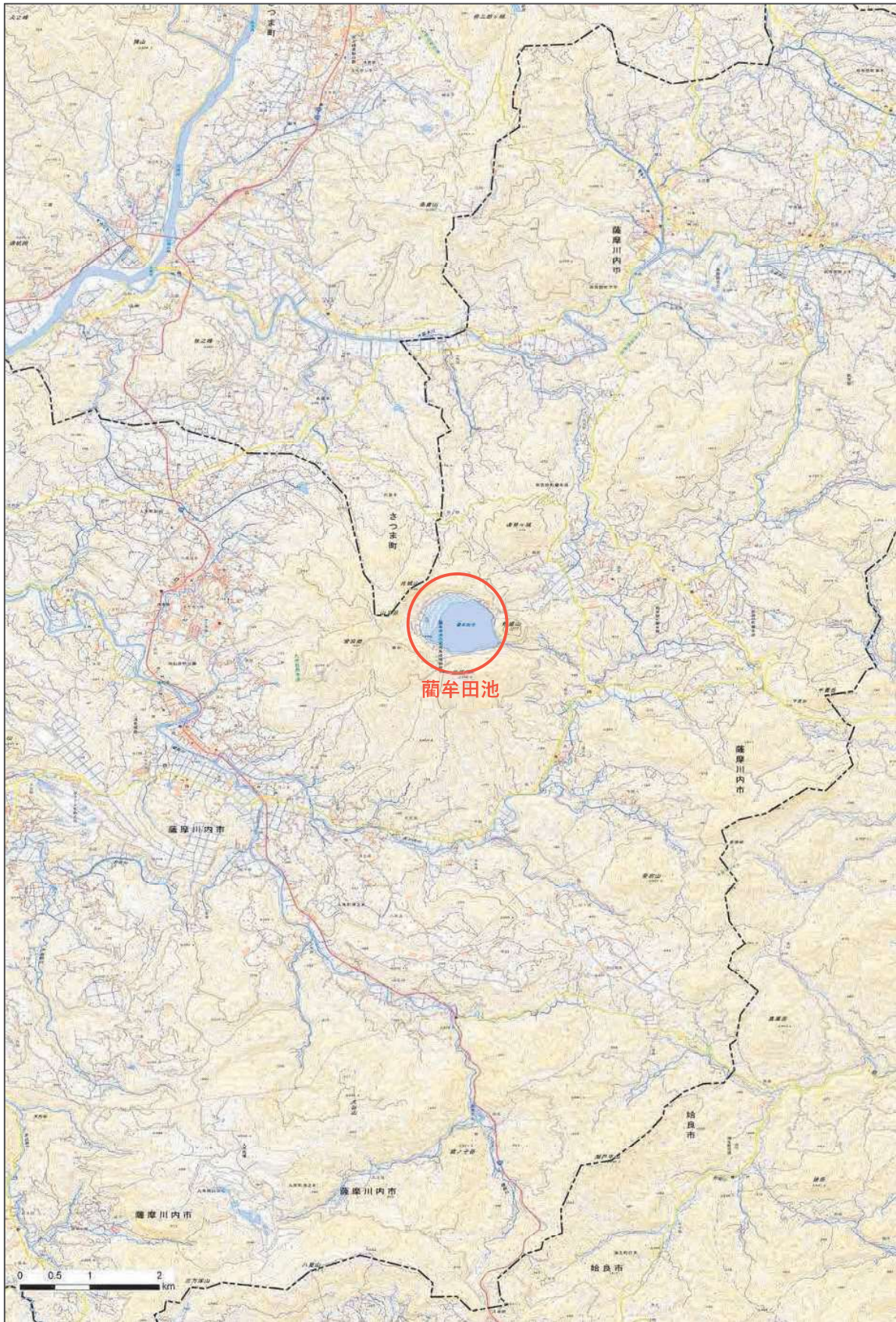


図 1-1-1 業務場所

1-2. 実施内容

1-2-1. 実施フロー

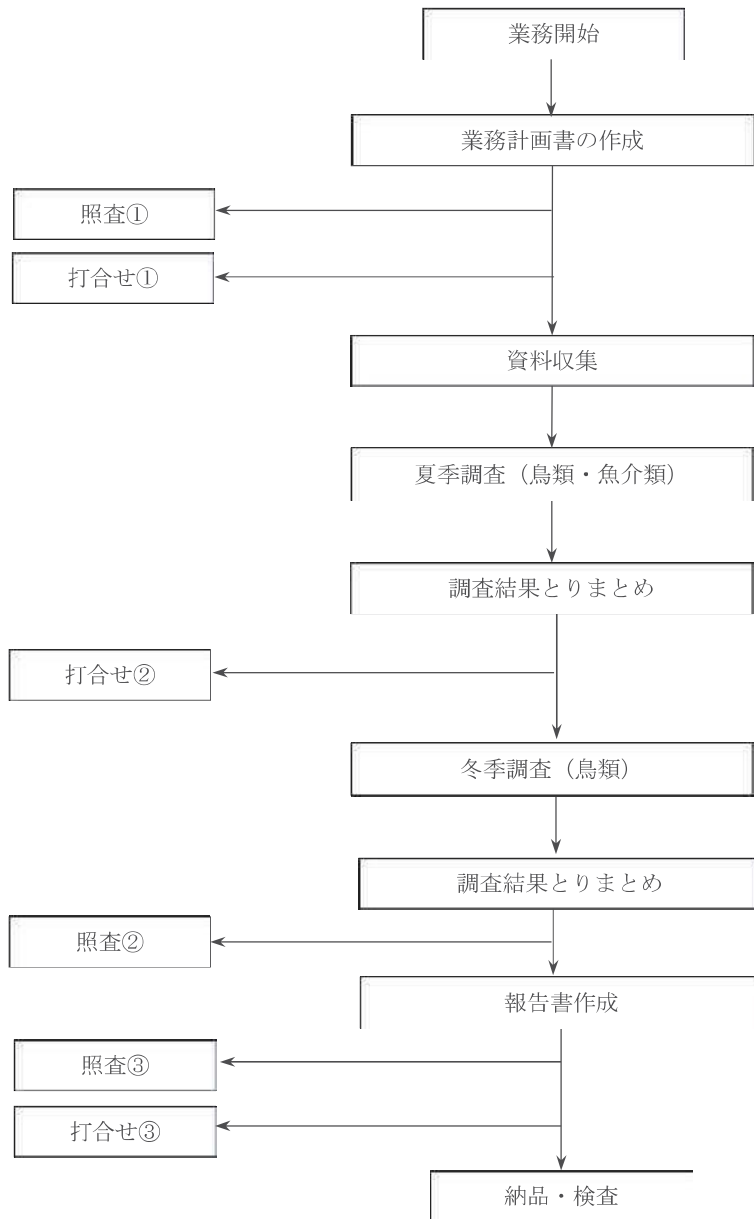


図 1-2-1 実施フロー

1-2-2. 実施方法

(1) 計画準備

①業務計画書作成

業務実施にあたり、仕様書の内容を確認したうえで業務計画書を作成した。

②資料収集

現地調査にあたって、事前に藺牟田池の動植物に関する資料を収集した。収集資料は、前回報告書、過去の藺牟田池の調査報告書等を対象とした。

(2) 調査方法

①鳥類

藺牟田池及び周辺の地形等を考慮し、ルートセンサス調査のルートと定点調査の定点を設定した。ルートセンサスは3ルート、定点調査は3定点とし、前回調査結果との比較検討ができるように設定した。調査は双眼鏡を使用した目視調査とし、調査に必要な距離、時間を確保した。

②魚介類

魚介類調査は、藺牟田池を3つのブロックに分けて捕獲調査を行った。それぞれのブロックに適した漁具、捕獲方法で調査を行った。使用漁具等については、前回調査を参考にして選定した。各ブロックの環境に適した漁具で捕獲し、十分な調査時間を確保した。また、比較的大きな外来魚（オオクチバス、ブルーギル等）を捕獲した場合は、胃内容物の調査を行った。

(3) とりまとめ、報告書作成

夏季、秋季、冬季の調査結果をとりまとめ、報告書を作成した。さらに、過去の調査結果と今回の調査結果を比較し、藺牟田池の環境の変化について考察した。また、今後必要となる環境保全の対策や措置についても整理した。

